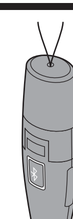
ブルートゥースヘッドセット 取扱説明書

GBH-M100



最初にご確認ください　セット内容

- ●本体+キャップ ………………… 1個
- ●充電用USBチャージャー …… 1個
- ●イヤーキャップ(S、L) ……… 各1個
- ●取扱説明書(本書) ………… 1部
- ●保証書 ……………………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト(http://direct.sanwa.co.jp/top/CSfTop.jsp)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

特長

●ストラップ付きで持ち運びに便利なカナル式ヘッドセットです。
●Bluetooth対応の携帯電話でハンズフリー通話が楽しめます。
●Bluetooth対応のパソコンでSkypeなどのIP電話や音声チャットが手軽に楽しめます。
●連続使用時間:通話時/約5時間・スタンバイ時/最大約130時間です。
●LEDが気になる方に最適なLEDオフ機能搭載です。

安全にご使用いただくために

●自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
●歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。
●使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なうおそれがあります。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようご注意ください。
●内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままでご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部には絶対に触れないでください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
●本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
●ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
●小さいお子様には使用させないでください。

ご注意

●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
●高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
●必要以上に長時間の充電はしないでください。
●電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300〜400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をお買い求めください。
●電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。
●本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetoothについて

●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

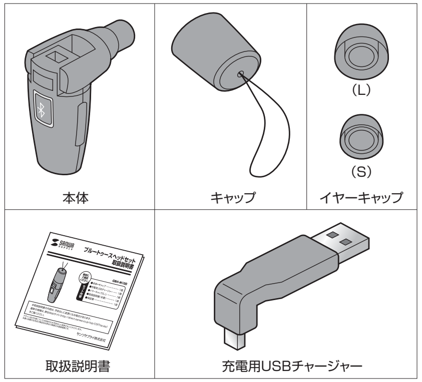
■ 良好な通信を行うために

●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
●Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

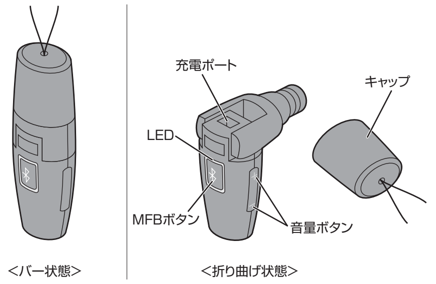
本製品のパスキー(PINコード)は 0000 です。

1.お使いになる前に

■セット内容

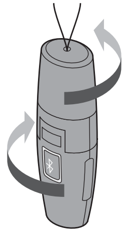


■各部の名称

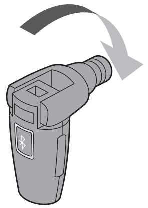


■装着方法

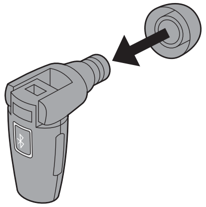
1.本体からキャップを取外します。
　下図の矢印の方向に回すとキャップを取外すことができます。



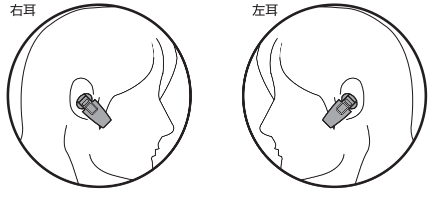
2.本体を折り曲げ状態にします。



3.イヤーキャップを取付けます。
※(S) と (L) のどちらかを使用してください。



4.折り曲げ状態のまま装着できます。
※右耳、左耳どちらにも装着できます。



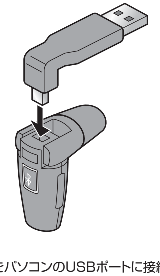
2.充電方法について

充電の際のご注意　ー必ずお読みくださいー

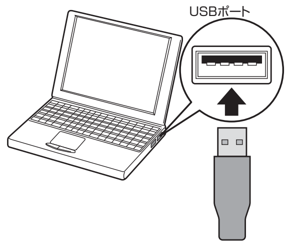
・初めて本製品をご使用になる場合は、完全に充電を行ってください。
・本製品は充電が完了し、充電用のUSBチャージャーから外した時点で自動で電源が入ります。
・初めてご使用になる場合、本製品を充電完了後にUSBチャージャーから外し、項目3を参照して電源を切ってください。
　その後、項目3と9を参照してペアリング、接続作業を行ってください。
　2回目以降はUSBチャージャーから外した時点で自動で接続されます。

■充電する

1.本体の電源を切ります。(項目3参照)
2.充電用USBチャージャーを本体の充電ポートに接続します。



3.充電用USBチャージャーをパソコンのUSBポートに接続します。
　接続するとLEDが赤く点灯します。



4.LEDが青く点灯したら充電完了です。
※付属の充電用USBチャージャー以外のもので充電しないでください。

■充電の時期

LEDが赤く点滅しはじめたら、上記の方法で充電してください。

3.電源のオン、オフ (折り曲げ状態のみ可能)

■電源オン (スタンバイモード/ペアリングモード)

本体を折り曲げ状態にし、MFBボタンを長押しします。
MFBボタンを押す時間によって機能が変わります。

・MFBボタンを約5秒長押しすると、スタンバイモード(接続待機状態)になります。(青LEDが点滅)
・MFBボタンを約7秒長押しすると、ペアリングモードになります。(青LEDが点灯)
　途中青LEDが点滅しますが、青LEDが点灯に変わるまで放さず押したままにしてください。

注意 : スタンバイモードからペアリングモードに切替えはできません。一度電源を切ってから長押しするとペアリングモードになります。

■電源オフ

本体を折り曲げ状態にし、MFBボタンを約5秒長押しすると、LEDが赤/青交互に点滅し、電源が切れます。
電源オフの状態では、バー状態、折り曲げ状態、いずれの状態でもLEDが点灯、点滅することはありません。
省電力モードやLEDオフ (後述) により電源のオン/オフの判別がつかない場合には、一度バー状態から折り曲げ状態にしてください。
折り曲げ状態にした直後に、青LEDが点滅すれば、いずれかのモードになっており、電源はオンのままです。

裏面へつづきます ▶▶▶

4.電話にでる

着信音は、本ヘッドセットと接続されていれば、バー状態、折り曲げ状態いずれの場合でもイヤフォン部から着信音が聞こえます。

■バー状態、かつ接続中の場合

折り曲げ状態にすることで、約1～3秒後通話が開始されます。MFBボタンを押す必要はありません。

■バー状態、かつ省電力モードの場合

折り曲げ状態にすることで、約4秒後通話が開始されます。MFBボタンを押す必要はありません。
※接続待機から自動的に接続される場合に限ります。

■折り曲げ状態、かつ接続中の場合

MFBボタンを押すと、通話が開始されます。
※すでにペアリングされ、接続待機から自動的に接続できる状態で電源がオフになっている場合は、折り曲げ状態で電源をオンにすることで、約5秒後通話が開始されます。接続されたと同時に通話が開始されますので、電源ON後に再度MFBボタンを押す必要はありません。

5.電話を切る

MFBボタンを押すと、終話になります。
また、バー状態に戻すことで、約4秒後終話になります。

6.省電力モードについて

本製品は、接続待機状態を維持できる省電力モードがあります。(バー状態の時のみ)
電源オン、かつバー状態の時、以下の操作で省電力モードをオン、オフにすることができます。

■省電力モードオン

MFBボタンと音量 (−) ボタンを、同時に約3秒長押しします。
省電力モードがオンになると、紫のLEDが2回点滅します。
オンになって約10秒経過すると、その後LEDが消え、省電力モードになります。(接続機器がある場合には、切断されます)
※約10秒経過するまでは、接続状態を維持します。

この状態にしておくと、一旦折り曲げ状態にして通話した後でも、バー状態に戻せば再び約10秒後に省電力モードになります。
省電力モードをオフにしたい場合は下記の「省電力モードオフ」を参照してください。

■省電力モードオフ

省電力モード中にMFBボタンと音量 (+) ボタンを約3秒長押しします。
省電力モードがオフになると、紫のLEDが2回点滅します。また、そのまま自動的に接続されます。

※一度省電力モードをオフにすると、バー状態に戻しても自動的には省電力モードに戻りません。
バー状態に戻しても、通常通り接続は維持され、キーロックが働くのみとなります。

7.LEDの状態について

	LEDの状態
着信中	青LEDが3秒毎に6回点滅
通話中	青LEDが8秒毎に点滅
接続中	青LEDが3秒毎に点滅
スタンバイモード	青LEDが3秒毎に点滅
バッテリー残量少	赤LEDが点滅
充電中	赤LEDが点灯、3秒毎に青LEDが点滅 (LEDオフ時は赤点灯のみ)
満充電	青LED点灯
ペアリングモード	青LEDが点灯

8.LEDのオン、オフについて

使用中に点滅するLEDが気になる場合は、以下の操作でLEDの点灯、点滅をオフにすることができます。

■LEDオフ

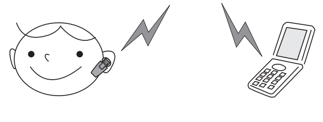
折り曲げ状態かつ電源がオンの状態で、音量 (+) ボタンと音量 (−) ボタンを同時に約3秒長押しします。
すると、LEDが一瞬赤に点滅し、LEDがオフになります。

■LEDオン

再びLEDをオンにするには、折り曲げ状態かつ電源がオンの状態で、音量 (+) ボタンと音量 (−) ボタンを同時に約3秒長押しします。
すると、LEDが一瞬青に点滅し、LEDがオンになります。

※LEDをオフにしていても、バー状態から折り曲げ状態にした際には、LEDが青に2回点滅します。
また、着信呼出中のLEDと、満充電を表す青LEDの点灯はオフになりません。

9.Bluetooth機能搭載の携帯電話でハンズフリー通話を楽しむ!



①ヘッドセットのMFBボタンを約7秒長押しし、ペアリングモード(青LEDが点灯)にします。

②ご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照のうえペアリング作業を行い、登録/接続を完了してください。

※必ず「ハンズフリー」で接続してください。

③携帯電話に着信があると、ヘッドセットから呼出音が鳴ります。

※携帯電話からも着信音を鳴らしたい場合はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

機能、操作	方法
キーロック(誤動作防止)	本体をバー状態にする。(電源オン/オフ、省電力モード設定、着信拒否操作のみ可能)
電話をかける	携帯電話で通常通りに電話する。 ▶通話中、携帯電話で通話をヘッドセットに切替える。 ※機種により自動的に切替わるものもあります。 ※携帯電話からの操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
電話に出る	着信中、MFBボタンを押す。またはバー状態から折り曲げ状態にする。項目4参照
電話を切る	通話中、MFBボタンを押す。または折り曲げ状態からバー状態にする。項目5参照
着信を拒否する	着信中、MFBボタンを長押しし、ビープ音が聞こえたらはなす。
リダイヤル	MFBボタンを押す。
ボリューム調節	本体の音量(+)、(−)ボタンを押す。
マイク消音	通話中、音量(+)、(−)ボタンのどちらかを1秒以上押す。再度長押しで解除されます。 ※通話中、マイクの電源のみオフにする機能です。
省電力モード	オン：バー状態で、MFBボタンと音量 (−) ボタンを長押しする。 オフ：バー状態で、MFBボタンと音量 (+) ボタンを長押しする。
LEDオフ	LEDがオンの状態で、音量 (+) と (−) ボタンを同時に長押しする。 機能した瞬間に赤LEDが点灯します。項目8参照
LEDオン	LEDがオフの状態で、音量 (+) と (−) ボタンを同時に長押しする。 機能した瞬間に青LEDが点灯します。項目8参照

※機種により、上記の一部の機能を使えない場合もあります。
※携帯電話からの操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

(例)NTT DoCoMo P904iの場合

①ヘッドセットのMFBボタンを約7秒長押しし、ペアリングモード(青のLEDが点灯)にします。
②P904iの「メニュー」ボタンを一回押します。
③「生活ツール」を選択します。
④「Bluetooth」を選択します。
⑤「登録機器リスト」を選択します。
⑥「サーチ」を選択します。
⑦「**GBH-M100**」を選択します。
⑧「YES」を選択します。
⑨P904iの暗証番号(初期設定は「0000」)を入力します。
⑩「確定」を押します。
⑪Bluetoothのパスキー「0000」を入力します。
⑫「確定」を押します。
以上でペアリングは完了(青のLEDがすばやく点滅)です。
⑬「ハンズフリー」を選択し、「接続」を押します。

以上で接続は完了し、ご使用できる状態になります。

10. 各機器との接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。
再度電源をONにすると、そのまま使用できます。
使用できない場合は、接続またはペアリングを行ってください。

⚠注意 同時に他の機器と同じプロファイルで接続(使用)することはできません。また、HSP(ヘッドセットプロファイル)とHFP(ハンズフリープロファイル)も同時に接続(使用)することはできません。

11. よくある質問

Q. ヘッドホンの音が聞こえません。また、音声入力ができません。(パソコンの場合)
A. 1「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。
2「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
3「音声」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

Q. ヘッドセットとデバイスの通信距離は?
A. 10mまでです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されますか?
A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。

Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?
A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。

Q. 電話とヘッドセットの接続が途切れたら、再接続する必要がありますか?
A. 電話の機種によって異なります。自動的に再接続する機種と、そうでない機種があります。

Q. ヘッドセットからノイズが聞こえる。
A. 通信範囲を超えたり、壁や人間の身体(接触した状態)などを挟むとノイズが入ります。

ノイズや音の途切れについて

携帯電話をポケットに入れて通話をする際、ノイズが入る・音が途切れることがあります。
無線LANや街中の電波干渉などにより起こる場合があります。また、携帯電話を入れているポケットとは反対側の耳にヘッドセットをつけている場合にも起こる場合があります。
Bluetoothが採用している2.4GHz帯の周波数帯域の電波は、水分に吸収されやすいため、人体など水分を含む物が間に入ると、届く電波が弱くなり通話品質が劣化するためです。

仕様

適合規格	Bluetooth Ver2.0
周波数範囲	2.402～2.480GHz
伝送方式	FHSS
通信距離	約10m (環境によって異なります)※
送信出力	Class2
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー 充電時間：約2時間30分 連続使用時間：通話時/約5時間 スタンバイ時/最大約130時間 (省電力モード時/約60日)
サイズ・重量	W60 × D14.8 × H19mm・9.5g
対応プロファイル	HSP (ヘッドセット)、HFP (ハンズフリー)
対応機種	Bluetooth対応のパソコン(※1)・携帯電話 ※1 HSP (ヘッドセットプロファイル)または HFP (ハンズフリープロファイル)に対応していること。 ※1 パソコンがBluetoothに対応していない場合、Bluetooth USBアダプタ (弊社製**MM-BTUD**～)をお使いください。

※実際の通信距離や使用時間は使用環境などによって異なります。
※使用後は必ず電源をOFFにしてください。または、接続を切断してください。
通話をしていない場合でも、接続中であれば同様に電力を消費します。
※スタンバイとは、電源がONの状態で、他の機器と接続されていない状態のことです。

保証規定

1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
(1)保証書をご提示いただけない場合。
(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報
■ドライバのダウンロード
■よくある質問(Q&A)
■各種対応表　など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから　▼"サポート&ダウンロード"コーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社　2009.4現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078
金　沢/TEL.076-222-8384

09/04/TTDaNo